

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	横田宏樹
	全体計画						経費区分		-		内線	3412
事務事業名	11707 農業施設整備事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	15012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060102 農林水産業費・農業費・農業総務費										
	事業	050000 農業施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
農業施設を適正に維持管理することで、農業振興に資する。						田の神揚水機場は昭和53年に建設され30年以上経過しており、施設の劣化が激しく、最近では汲み上げ井戸内部構造の劣化により、内部が崩壊し地下水の汲み上げができなくなる状況にあり、機場の施設の修繕が必要である。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
田の神揚水施設送水分岐仕切弁修繕工事 田の神揚水施設水位計等修繕工事 田の神揚水施設2号井戸修繕工事 田の神揚水施設地下水調査	田の神揚水施設2号井戸ケーシング修繕工事
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
田の神揚水施設1号井戸更新工事	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		6,358	1,300
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		6,358	1,300
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	696.8	696.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	696.8	696.8
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		7,054.8	1,996.8

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5,588	修繕料5,588
12節 委託費	770	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,300	修繕料1,300
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	農業用用水の確保は農業を営む上で必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	大規模な改修はできないが必要最低限の修繕を行い施設の長寿命化を行う。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	必要最低限の修繕を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

設置からの経年により、井戸機能や施設設備機能が弱まっている中で、安定的な用水確保は必要不可欠となっており、受益者からも施設維持への要望が強い。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>安定的な用水確保は地元との約束事となっており継続的な運用が不可欠</p>		<p>営農継続のための必要な農業施設である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	